

KACE®システム導入アプライアンス (K2000) 4.1

リリースノート



目次

Quest® KACE®システム導入アプライアンス (K2000) 4.1リリースノート.....	3
KACEシステム導入アプライアンス (K2000) 4.1について.....	3
新機能と強化点.....	4
廃止される機能.....	4
解決済みの問題.....	5
既知の問題.....	6
システム要件.....	12
製品ライセンス.....	12
インストール手順.....	12
アップデートの準備.....	12
通知更新を使用したアプライアンスの更新.....	13
アップデートの手動によるアップロードと適用.....	13
その他のリソース.....	14
グローバル化.....	14
当社について.....	15
名前を超える存在.....	15
当社のブランドとビジョンと、ともに.....	15
Questへのお問い合わせ.....	15
テクニカルサポートのリソース.....	15
法的情報.....	16

Quest® KACE®システム導入アプライアンス (K2000) 4.1リリースノート

このリリースノート文書は、Quest KACEシステム導入アプライアンス (K2000) バージョン4.1に関する情報を提供します。

KACEシステム導入アプライアンス (K2000) 4.1について

KACEシステム導入アプライアンス (K2000) は、イメージのキャプチャと展開を行うためのネットワーク中心のソリューションを提供します。K2000はシームレスなクロスプラットフォームのイメージ処理ソリューションを提供するので、ユーザーは1台の管理コンソールからMicrosoft® Windows®プラットフォームおよびApple® OS X®プラットフォームをプロビジョニングできます。また、ユーザーは1台のデバイスまたは同時に複数のデバイスに、設定ファイル、ユーザープロファイル、およびアプリケーションをイメージとして展開できます。

K2000は、同種および異種の両方のハードウェア環境における展開を自動化するのに必要なツールを提供し、マルチキャスト機能とタスクエンジン機能により、大規模なイメージ展開を高い信頼性で実現できます。ビルトインのドライバフィードにより、デルのドライバモデルが自動的にダウンロードされ、パッケージ管理機能を使用することにより、サードパーティ製のドライバパッケージをアップロードすることもできます。また、K2000をKACEシステム管理アプライアンス (K1000) と統合することでK1000インベントリのイメージを作成することもできます。K2000 は、仮想アプライアンスまたは物理アプライアンスとして使用できます。

KACEシステム導入アプライアンス (K2000) バージョン4.1は、複数のリモートサイトアプライアンス (RSA) が改善され、アプライアンスで追加のOSサポートが利用可能となった、製品のマイナーリリースです。これまでのいくつかのリリースでコアアプライアンスに追加された多数の機能が、RSAに導入されています。これらには、RSAユーザープロファイルのキャプチャ、RSAイメージキャプチャ、RSAマルチキャスト機能などが含まれています。また、Mac OS X® Sierra (10.12) およびWindows Server® 2016のサポートも追加されています。

新機能と強化点

次の新しい機能と拡張機能がこのリリースに組み込まれています。


- RSAの改善点。
 - このリリースから、RSAでマルチキャスト展開 (ESMEA-1710) をサポートします。
 - RSAでシステムイメージ (ESMEA-1967) とユーザープロファイル (ESMEA-1968) をキャプチャできるようにになりました。
 - WIM、DMGおよびK-Imageに変更を加えたときは、RSAから 保存と同期 が必要です (ESMEA-587)。
- 拡張プラットフォームサポート。
 - Windows Server 2016およびMac OS Sierra (10.12) がサポートされるようになりました (ESMEA-1057、ESMEA-2168)。
- KBE (K2000ブート環境) の向上。UEFI (Unified Extensible Firmware Interface) およびレガシー/BIOS情報がKBEフッターに追加されました (ESMEA-2610)。

このリリースでの新しい機能の詳細を確認するには、サポートサイトで利用できるビデオチュートリアルをご覧ください。 <https://support.quest.com/kace-systems-deployment-appliance/kb?k=what%27s%20new>

廃止される機能

次に示しているのは、KACEシステム導入アプライアンス (K2000) ではサポートされなくなった機能のリストです。

廃止される機能

機能	問題 ID
前の RSA はサポートされなくなり、バージョン 4.0 を実行している K2000 では古いバージョンの 32 ビット RSA にデータを同期することはできません。既存の 32 ビット RSA から新しい 64 ビットバージョンにデータを移行するためのツールおよびプロセスを利用いただけます。移行プロセスの詳細については、「 既存の 32 ビット RSA を 64 ビットに移行 」を参照してください。	RSA v3.7
Windows® User State Migrationツール (USMT) 10 を使用した、USMT 4ツールでスキャンされたユーザープロファイルの導入はサポートされません。	USMT 4
 注: USMT 5 のツールは、Windows Media Manager を使用して USMT10 としてアップロードされます。	

解決済みの問題

以下の問題は、このリリースで解決されています。

解決済みの問題

解決済みの問題	問題 ID
32ビットOSイメージの自動展開がiPXEを搭載している64ビットプロセッサマシンで失敗しました。	ESMEA-2705
RSAアップグレードプロセスログに RSAを更新して います ではなく K2000を更新して います と表示されました。	ESMEA-2692
Windows 8.1 x64およびx86のいくつかのKイメージでの展開がさまざまな場所のエラーで失敗しました。	K2-6565
デバイスインベントリからブートアクションを作成しながら、K2000アプライアンスからRSAに切り替えると、選択したデバイス の下にあるMACアドレスリストがクリアされました。	K2-6556
Samba共有パスワードにスペースがある場合、WindowsのメディアマネージャがKBEを構築してアップロードできませんでした。	K2-6553
UEFI KBEのロード中に、一部のコンピュータモデルがKBEの起動ロゴ (Windowsまたは製造元のロゴ) でハングしました。	K2-6551
ドライバが更新された場合または新しいドライバの場合、ドライバフィード ページに青い矢印が表示されませんでした。	K2-6539
特定の長さのファイル名が前/後のタスクとして追加されたとき、WindowsでGoogle® Chrome™を使用していると、置き換えが困難でした。	K2-6538
一部のUEFI対応マシンで、iPXEメニューをロードした後、ローカルハードディスクを起動できませんでした。	K2-6526
Mac OS X 10.11用のNetBootイメージが大きすぎました。	K2-6483
NetBootの作成時に、Mac OS X 10.11で / Applications から写真が削除されませんでした。	K2-6481

解決済みの問題	問題 ID
Mac OS X 10.11 NetBoot環境でドック上にMapsおよびiBooksのアプリケーションアイコンの代わりに疑問符が表示されました。	K2-6480
jQueryがオンラインヘルプから削除されています (管理者ガイド)。	K2-6400

既知の問題

次に示しているのは問題の一覧です。これには、サードパーティ製品に属する問題、リリース時点で存在が認識されている問題が含まれます。

一般的な既知の問題

既知の問題	問題 ID
起動マネージャのパスワード機能は、新しい UEFI 互換起動システムでは動作しません。	起動マネージャのパスワード
PCIe (Peripheral Component Interconnect Express) バスを使用している NVMe (non-volatile memory express) により設定されているシステム上で Windows 7 のスクリプト形式のインストールを実行しているとき、次のエラーが発生します。 Windows needs the driver for device [Standard NVM Express Controller] この問題は K2000 アプライアンスとは関係がないため、サポートが提供されていません。 対策：次の回避方法は、そのままの状態をサポートなしで使用できます。詳細については、次の KB 記事をお読みください。 https://support.quest.com/kace-systems-deployment-appliance/kb/185551	Microsoft
アップグレード後に、ドライバフィード ページで、青い矢印アイコンが間違った場所に表示されます。	ESMEA-2841
タイムゾーンを変更した後、進行状況画面は表示されますが、日付/時刻 ページが適切に表示されません。	K2-6582
ハードドライブの名前にスペースがあると、Macイメージがキャプチャできない場合があります。	K2-6580
デフォルトのブートアクション が ハードドライブ で起動 に設定されているとき、クライアントマシンで iPXE から 起動メニュー が起動します。	K2-6579
大量の graph.temp ファイルが残されているため、Munin が更新を停止します。	K2-6576

既知の問題	問題 ID
WIMイメージのキャプチャ中、WIMイメージ用のファイルリストを作成している段階、またはWIMイメージをキャプチャしている段階の間、プログレスインジケータが動きません。	K2-6573
アプリケーションのインストール前、中、または後のタスクにコマンドパラメータを入力しているとき、すべて小文字でパラメータを指定しない場合、タスクエンジンが正しくパラメータを記録しません。	K2-6571
新しいLDAPサーバの作成中、テスト ボタンが適切に機能しません。	K2-6566
DiskPartスクリプトでフォーマットを実行しても、Sysprepを実行済みのイメージについての警告が表示されます。	K2-6560
一部のモデルは、デバイスの初期化段階の間にフリーズし、UEFI PXE起動時にKBEメニューに到達できません。	K2-6552
 注: これは、製造元のBIOSバージョンに関する既知の問題です。BIOSバージョンをアップグレードまたはダウングレードすると問題が解決する場合があります。	
RSAでオフボードストレージを使用しているとき、MacクライアントマシンがRSAからNetBootで起動できません。	K2-6502
<p>ネットワークアダプタ設定NICが E1000E に設定された状態でESXi 5.xに作成された仮想マシン (VM) では、K2000アプライアンスでiPXE (UEFI用) を起動できません。</p> <p>対策：VMネットワークアダプタ設定NICを E1000 に設定します。</p>	K2-6496
<p>ADK (Windowsアセスメントおよびデプロイメントキット) 10を使用して作成されたKBEであるWINPE10から展開するとき、Windows XPのスク립ト形式のインストールが失敗します。</p> <p>対策：ADK 8.1を使用して作成されたKBE、WINPE5を使用するとWindows XPのスク립ト形式のインストールが正常に導入されます。</p>	K2-6484
<p>Mac OS X 10.11、ASR (Apple Software Restore) / Kイメージの導入時にNetBootログイン画面がクライアントマシン上に表示され、起動処理が設定されません。</p> <p>対策：NetBoot環境でMac OS X 10.11用の前処理手順が完了するまで待機することをお勧めします。完了時にはログイン画面で画面の下部にパスワードボックスとK2000のIPが表示されます。また、導</p>	K2-6479

既知の問題	問題 ID
<p>入の進行状況はK2000管理コンソールで監視できません。</p> <p>これらの処理が完了する前にログインが試行された場合は、K2000イメージングユーティリティがドック上に表示されず、ユーザーがNetBoot環境へと再起動する必要があります。</p>	
<p>Windows USMT (User State Migration Tool) 5またはUSMT 10を使用するWindows XPユーザープロファイルのスキャンが、K2000サーバ上で間欠的に進行中のままになります。</p> <p>対策：Windows XPのユーザープロファイルはWindows PEからスキャンできます。これはMicrosoftが推奨する対処方法です。詳細については、https://social.technet.microsoft.com/Forums/en-US/83ddb84e-d919-4acc-91ca-78d4f1478df1/scanstateexe-from-usmt-50-from-windows-81-adk-fails-on-windows-xp-with-1-is-not-a-valid-win32を参照してください。</p>	K2-6477
<p>Notepad.exe でのファイルの編集またはレジストリの編集は、K2000 ブート環境 (KBE) の回復コンソールで Windows PE 10.0 を使用しているときに正常に動作しません。</p>	K2-6436
<p>PO タスクの join domain により正常にマシンがドメインに関連付けられたとき、展開ログに failed と誤って記録されます。</p>	K2-6407
<p>MAC イメージが正常に導入された後、進行ステータスが正常に更新されません。</p>	K2-6406
<p>Windows 7x86 から取得したオンラインユーザーの状態が Windows 8.1x64 に正常に導入されません。</p>	K2-6405
<p>Windows 10 の導入時、Windows PO タスク実行中にエクスプローラーのウィンドウが開きます。</p>	K2-6389
<p>3.7 SP2 アプライアンスで、ログイン情報およびパスワードとして konfig とコンソールで入力し、変更を行おうとすると、リンクアグリゲーションが有効な場合に、リンクアグリゲーション IP が正しくないというエラーが表示され、詳細が表示されます。</p> <p>対策：リンクアグリゲーションが有効な状態であれば、「ネットワーク設定」ページにアクセスして、ホスト名とIPアドレスを入力します。</p>	K2-5957
<p>「アプライアンスのパフォーマンス」ページに、外部ストレージのディスク使用率が表示されません。</p>	K2-5893
<p>Windows または Mac® のブート環境を FreeBSD 10 ISO から作成した場合、一般設定 > デフォルト</p>	K2-5836

既知の問題	問題 ID
K2000 ブート環境 ページにデフォルトでブート環境が設定されません。	
アラートや警告メッセージを閉じたりキャンセルしたりした場合、ダッシュボード ページに戻ったとき、または ダッシュボード ページを更新したときに、同じメッセージが再表示されます。	K2-5806
K2000アプライアンスからASRイメージがキャプチャされていない場合、インポートされたASRイメージの展開が失敗します。 <div style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px; margin-left: 20px;"> <p>i 注: アプライアンスは、K2000 アプライアンスからキャプチャされた ASR イメージ用に ImageStore ディレクトリを作成します。</p> </div> <p>対策: petempディレクトリにImageStoreフォルダを作成します。</p>	K2-5758
K-Image内のファイルを編集した後に、保存 をクリックすると、コミット および 元に戻す のオプションが消えて、編集したファイルがイメージファイルブラウザ内に表示されなくなります。 <p>対策: イメージを複製して、コミット および 元に戻す のオプションを表示させ、オリジナルのファイルがイメージファイルブラウザ内に表示されるようにしてください。</p>	K2-5740
ZIP ファイル内にバッチファイルが含まれているアプリケーション型の事前インストールタスクが実行に失敗します。	K2-4577
10.9.2 Mac® デバイスを NetBoot イメージで起動した場合、アプライアンスのロケール設定が英語以外であると、指定したロケールがキーボードレイアウトに表示されません。	K2-4562
ユーザープロファイルのスキャンタスクが失敗したときに、タスクエラー ページからタスクの再試行を試みると、ステータスに成功と表示されます。しかし実際には、選択したユーザープロファイルはスキャンされておらず、アプライアンスにもアップロードされていません。 <p>対策: タスクエラー ページからターゲットデバイスを再起動した後で、再び KBE からデバイスを起動し、展開を再開します。デバイスを再起動すると、USMTプロファイルデータ用の新しい作業ディレクトリが作成され、プロファイルが正常にキャプチャされるようになります。</p>	K2-4427
x64 および x86 の日本語 Windows® OS の場合、Sysprep 済みの K-Image およびスクリプト形式のインストールの展開中、デバイス名が保持されません。	K2-3170

既知の問題	問題 ID
手動でアップグレードを実行する場合、アップグレードプロセスがK2000管理コンソールに表示されないことがあります。	K2-3007
K2000アプライアンスのライセンスが期限切れになったときに、K2000デバイスインベントリに含まれていないMac®デバイスを起動すると、「ライセンスが限度を超えました」というエラーメッセージがターゲットデバイスに表示されません。ターゲットデバイスが、アプライアンスからの起動を何度も試行します。	K2-2815
オフボードストレージデバイスの K2000 への接続が失われている場合に、パッケージ管理 ページにアクセスしようとすると、K2000 にアクセスできなくなります。	K2-2654

Hyper-Vの既知の問題

既知の問題	問題 ID
Microsoft Hyper-V®でのアップグレードで適切なディスクパーティションがマウントされない場合があります。	K2-6561
同期が完了したとき、RSAステータスが自動的に更新されません。	K2-6558
ダッシュボード ページの ネットワーク使用率 セクションに、Hyper-V® プラットフォームの情報が表示されません。	K2-5902
K2000をHyper-Vプラットフォームで実行すると、「runtime went backwards」というエラーメッセージがHyper-Vコンソールに何度も表示されます。 対策：K2000での修正は必要ありません。このメッセージを無視して、展開を続行しても構いません。	K2-5843

マルチキャスト展開の既知の問題

既知の問題	問題 ID
ユニキャストの代わりにマルチキャストを介して、2つまたは複数のパーティション WIM イメージを展開すると、最初のパーティションのみが展開されます。 対策：この問題で利用できる回避策があります。詳細については、次の KB 記事をお読みください。 https://support.quest.com/kace-systems-deployment-appliance/kb/212975	K2-5393
マルチキャストの展開を削除すると、プロセスが終了しません。したがって、新しいマルチキャストの展開を開始できません。	K2-4286

既知の問題

問題 ID

対策：展開のタイムアウト期間を調整します。デフォルトのマルチキャスト展開のタイムアウトは10分です。

エラー発生時にマルチキャスト展開が続行されません。

K2-4180/ESMEA-624

対策：マルチキャスト展開をエラー発生時に続行するように設定しないでください。

リモートサイトアプライアンスの既知の問題

既知の問題

問題 ID

オフボードストレージからオンボードストレージへの逆方向の移行中にRSAを再起動すると、RSAにアクセスできなくなります。

K2-3775



注: データロスを防ぐには、RSA データを別の場所またはデバイスにエクスポートします。逆方向の移行が完了するまで、RSA の電源を切ったり再起動したりしないでください。

メディアをRSAにアップロードしようとする、メディアマネージャに次のエラーメッセージが表示されます。「無効な応答です。指定したホスト名を確認してください。」

K2-3290

対策：ホスト名またはIPアドレスがK2000 (RSAではない) のホスト名またはIPアドレスであることを確認してください。

リンク先アプライアンスを切り替えると、管理コンソールの右上隅にあるドロップダウンリストに、シングルサインオン (SSO) を使用して K2000 からログインしたすべてのアプライアンスではなく、リンク先アプライアンスのみが表示されます。

K2-3241

ドライバの既知の問題

既知の問題

問題 ID

スラッシュ (/) が製造元の名前内に存在する場合、ドライバの導入中に問題が発生します。

K2-6370

スクリプト形式のインストールの既知の問題

既知の問題

問題 ID

Windows 10 64ビットのスクリプト形式のインストールで、実際には存在するのに、ブート環境が利用できると表示されません。

K2-6371

既知の問題	問題 ID
メディアマネージャを南米スペイン語からダウンロードすると、K2000アプライアンスで、MSIインストーラおよびショートカットアイコンのメディアマネージャの製品名がスペイン (スペイン語) で表示されます。	K2-5585

システム要件

バージョン4.1をインストールするために必要な最小バージョンは4.0.695 (バージョン4.0) です。アプライアンスが以前のバージョンを実行している場合は、このメジャーリリースをインストールする前に記載されているバージョンにアップデートし、アップデートをインストールした後でアプライアンスを再起動する必要があります。アプライアンスのバージョン番号を確認するには、KACEシステム導入アプライアンス管理コンソールにログインし、ウィンドウの左下にある K2000 について をクリックします。

バージョン 4.1 にアップグレードまたはインストールする前に、お使いのシステムが最小要件を満たしていることを確認してください。これらの要件は、K2000 の技術仕様で確認できます。

- 物理アプライアンスの場合：<http://documents.quest.com/kace-systems-deployment-appliance/technical-specifications-for-physical-appliances/> に移動します。
- 仮想アプライアンスの場合：<http://documents.quest.com/kace-systems-deployment-appliance/technical-specifications-for-virtual-appliances/> に移動します。

製品ライセンス

現在 K2000 の製品ライセンスをお持ちの場合、追加のライセンスは必要ありません。

初めて K2000 をお使いになる場合は、アプライアンスの『セットアップガイド』で製品ライセンスの詳細をご確認ください。[その他のリソース](#) に移動して、適切なガイドにアクセスします。

i 注: バージョン 4.1 の製品ライセンスは、バージョン 4.1 以降を実行する K2000 アプライアンスでのみ使用できます。バージョン 4.1 のライセンスは、4.0 など K2000 の以前のバージョンを実行するアプライアンスでは使用できません。

インストール手順

アプライアンスを更新するには、通知更新を使用するか、アップデートファイルを手動でアップロードします。

アップデートの準備

K2000 アプライアンスを更新する前に、次の要件を満たしていることを確認します。

- 現在のバージョン: K2000 4.1をインストールするために必要な最小バージョンは4.0.695 (バージョン 4.0) です。アプライアンスのバージョン番号を確認するには、K2000 にログインし、ウィンドウの左下に

ある K2000 について をクリックします。以前のバージョンのアップライアンスをお使いの場合は、4.1のインストールを行う前に、記載されているバージョンにアップデートする必要があります。

- ディスク領域: K2000 アプライアンスでは 20 % 以上の空きディスク領域が必要になります。物理アプライアンスでは、このディスク領域はアプライアンスのメインドライブに確保する必要があります。

その他の推奨事項:

- 十分な時間の確保 : 150 MBを超えるようなサイズが大きいデータベースの場合、更新プロセスに数時間かかる可能性があります。
- 開始前のバックアップ : 次のサポート技術情報の記事で説明されている手順を使用して、K2000 アプライアンスのすべてのアイテムをエクスポートします。
 - [K2000 Backup Best Practices \(K2000 バックアップのベストプラクティス \)](#)
 - [How to back up a K2000 appliance \(K2000 アプライアンスをバックアップする方法 \)](#)
- SSHの有効化: K2000管理コンソールの「セキュリティ設定」セクションで、SSHを有効にします。
- K2000 サーバの再起動 : アプライアンスのメンテナンス 設定ページで、アップデートする前に K2000 サーバを再起動します。

通知更新を使用したアプライアンスの更新

アプライアンスを更新するには、アプライアンスの「ダッシュボード」ページまたは管理コンソールの「アプライアンスのメンテナンス」ページで通知される更新プログラムを使用してください。

! **注意:** アップデート中は、アプライアンスを手動で再起動しないでください。

1. 次のサポート技術情報の記事で説明されている手順を使用して、K2000 アプライアンスのすべてのアイテムをエクスポートします。
 - [K2000 Backup Best Practices \(K2000 バックアップのベストプラクティス \)](#)
 - [How to back up a K2000 appliance \(K2000 アプライアンスをバックアップする方法 \)](#)
2. 左側のナビゲーションバーで、設定 をクリックしてセクションを展開し、次に アプライアンスのメンテナンス をクリックして「アプライアンスのメンテナンス」ページを表示します。ページの下部までスクロールし、再起動 をクリックします。確認 ダイアログで はい をクリックしてサーバを再起動します。
3. 左側のナビゲーションバーで、設定 をクリックしてメニューを展開し、次に アプライアンスのメンテナンス をクリックして「アプライアンスのメンテナンス」ページを表示します。
4. 更新の適用 をクリックしてアップグレードプロセスを開始します。

アプライアンスのアップデートに必要な時間は K2000 にあるコンテンツによって異なります。手動でアプライアンスをハードシャットダウンしないでください。また、アプライアンスはアップグレードプロセス実行中に、完了するまで自動的に (数回の可能性あり) 再起動します。

5. サーバ更新の確認 をクリックします。

アップグレードが完了すると、アプライアンスは自動的に再起動します。

アップデートの手動によるアップロードと適用

Quest KACEでアップデートが公開されている場合、ファイルを手動でアップロードして、アプライアンスを更新できます。



注意: アップデート中は、アプライアンスを手動で再起動しないでください。

1. 次のサポート技術情報の記事で説明されている手順を使用して、K2000 アプライアンスのすべてのアイテムをエクスポートします。
 - [K2000 Backup Best Practices \(K2000 バックアップのベストプラクティス \)](#)
 - [How to back up a K2000 appliance \(K2000 アプライアンスをバックアップする方法 \)](#)
2. ログイン資格情報を使用して、Quest Webサイト (<https://support.quest.com/kace-systems-deployment-appliance/download-new-releases>) にログインし、K2000サーバ4.1の更新ファイルをダウンロードして、ローカルに保存します。
3. 管理コンソールにログインします。
4. 左側のナビゲーションバーで、設定 をクリックしてセクションを展開し、次に アプライアンスのメンテナンス をクリックして「アプライアンスのメンテナンス」ページを表示します。
5. K2000アプライアンスの更新 > 手動更新 で、参照 をクリックして更新ファイルを選択し、開く をクリックします。
6. サーバのアップデート をクリックします。

アプライアンスのアップデートに必要な時間は K2000 にあるコンテンツによって異なります。手動でアプライアンスをハードシャットダウンしないでください。また、アプライアンスはアップグレードプロセス実行中に、完了するまで自動的に (数回の可能性あり) 再起動します。

その他のリソース

次の場所から、その他の情報を利用できます。

- オンライン製品ドキュメント (<http://documents.quest.com/ProductsAZ.aspx#K>)
 - 外部 I/O 接続リファレンス : <http://documents.quest.com/kace-systems-deployment-appliance/13g-external-io-reference/> に移動します。
 - 技術仕様 : 製品のインストールや、最新バージョンへのアップグレードに必要な最小要件に関する情報が記載されています。
物理アプライアンスの場合 : <http://documents.quest.com/kace-systems-deployment-appliance/technical-specifications-for-physical-appliances/> に移動します。
仮想アプライアンスの場合 : <http://documents.quest.com/kace-systems-deployment-appliance/technical-specifications-for-virtual-appliances/> に移動します。
 - 管理者ガイド : アプライアンスのセットアップと使用の手順です。<http://documents.quest.com/kace-systems-deployment-appliance/administrator-guide/> に移動して、最新リリースのマニュアルを参照します。

グローバル化

本項には、この製品を英語以外の構成でインストールして運用するための情報 (北米以外のお客様が必要とする情報など) を記載しています。本項は、製品マニュアルの他の場所に記載されているサポート対象プラットフォームや設定に関する資料の代わりとなるものではありません。

このリリースでは、あらゆるシングルバイトまたはマルチバイト文字列をサポートします。このリリースでは、すべての製品コンポーネントを、同じまたは互換性のある文字エンコードを使用するように設定する必要があります。また同じロケールと地域オプションでインストールする必要があります。このリリースは、次の地域での運用をサポートすることを目的としています。北米、西ヨーロッパ、ラテンアメリカ、中央および東ヨーロッパ、極東アジア、日本。

このリリースは、以下の言語のローカライズ版が用意されています: フランス語、ドイツ語、日本語、ポルトガル語 (ブラジル)、スペイン語。

当社について

名前を超える存在

当社は情報技術をより促進するための探求をしています。IT管理の時間を短縮し、ビジネス革新に時間を費やせるようにするために、コミュニティ主導のソフトウェアソリューションを構築しています。データセンターのモダナイゼーション、クラウドへの素早いアクセス、データ駆動型ビジネスを成長させるために必要な専門知識、セキュリティ、およびアクセシビリティの提供をサポートします。革新の一部となるグローバルコミュニティへのQuestの促進と、顧客満足度を確実にするための当社のコミットメントを組み合わせることで、当社はお客様に真のインパクトを与え、誇りとなるレガシーを残すソリューションを提供し続けます。当社は新しいソフトウェア企業に変化していくことで現状に挑戦しています。お客様のパートナーとして、情報技術が、お客様のために、そしてお客様により設計されるよう、継続して取り組み続けます。それこそが当社のミッションであり、一体となりこのミッションに取り組んでいます。新しいQuestによろこそ。当社とともに革新を促進させましょう。

当社のブランドとビジョンと、ともに

当社のロゴは、革新、コミュニティ、サポートという当社のストーリーを反映しています。このストーリーの重要な部分は、「Q」で始まります。これは技術的な精度と強度へのコミットを表している完全な円です。Qの空間は、コミュニティと新しいQuestに欠けている部分、つまりお客様に参加していただく当社の必要性を象徴しています。

Questへのお問い合わせ

セールスまたはその他のお問い合わせについては、www.quest.com/company/contact-us.aspxを参照するか、1-949-754-8000までお電話ください。

テクニカルサポートのリソース

サポートポータルは、問題を迅速に自身で解決するのに使用できるセルフヘルプツールを提供しており、毎日24時間アクセスできます。このサイトでは、以下の操作を実行できます。

- サービスリクエストの送信と管理
- サポート技術情報記事の表示
- 製品情報への登録
- ソフトウェアと技術文書のダウンロード
- 説明ビデオの再生
- コミュニティの討論への参加
- サポートエンジニアとのオンラインチャット
- 製品のサポートサービスの表示

法的情報

Copyright 2017 Quest Software Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

This guide contains proprietary information protected by copyright. The software described in this guide is furnished under a software license or nondisclosure agreement. This software may be used or copied only in accordance with the terms of the applicable agreement. No part of this guide may be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical, including photocopying and recording for any purpose other than the purchaser's personal use without the written permission of Quest Software Inc.

The information in this document is provided in connection with Quest Software products. No license, express or implied, by estoppel or otherwise, to any intellectual property right is granted by this document or in connection with the sale of Quest Software products. EXCEPT AS SET FORTH IN THE TERMS AND CONDITIONS AS SPECIFIED IN THE LICENSE AGREEMENT FOR THIS PRODUCT, QUEST SOFTWARE ASSUMES NO LIABILITY WHATSOEVER AND DISCLAIMS ANY EXPRESS, IMPLIED OR STATUTORY WARRANTY RELATING TO ITS PRODUCTS INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTY OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL QUEST SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, CONSEQUENTIAL, PUNITIVE, SPECIAL OR INCIDENTAL DAMAGES (INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, DAMAGES FOR LOSS OF PROFITS, BUSINESS INTERRUPTION OR LOSS OF INFORMATION) ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS DOCUMENT, EVEN IF QUEST SOFTWARE HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. Quest Software makes no representations or warranties with respect to the accuracy or completeness of the contents of this document and reserves the right to make changes to specifications and product descriptions at any time without notice. Quest Software does not make any commitment to update the information contained in this document.

If you have any questions regarding your potential use of this material, contact:

Quest Software Inc.

Attn: LEGAL Dept




4 Polaris Way

Aliso Viejo, CA 92656

Trademarks

Quest, KACE, and the Quest logo are trademarks and registered trademarks of Quest Software Inc. in the U.S.A. and other countries. For a complete list of Quest Software trademarks, please visit our website at www.quest.com/legal. All other trademarks, servicemarks, registered trademarks, and registered servicemarks are the property of their respective owners.

凡例

-  **注意:** 注意アイコンは、指示に従わなかった場合に、ハードウェアの損傷やデータ損失につながる可能性があることを示します。
-  **警告:** 警告アイコンは、物的損害、人身傷害、または死亡事故につながるおそれがあることを示します。
-  **重要、注、ヒント、モバイル、またはビデオ:** 情報アイコンは、補足情報を表しています。

KACEシステム導入アプライアンス (K2000) リリースノート

更新日 - 2017年2月

ソフトウェアバージョン - 4.1ベータ